



海外から叶えた古民家への夢

私たちは2015年、一組のご夫婦と出会いました。
 「自分達が理想とする場所で古民家をリユースして定住したい」
 これは180日にも及ぶストーリーの始まりです。
 このお話は2015年8月中旬に弊社にかかって来た、
 「相談したいことがあるのですが...」との一本のお電話から始まりました。
 糸魚川に定住するため数年前から探していたところ、自分達が考える理想の
 地と建物を見つけたので、その建物をリフォームしてリユース(=再生)出来
 るか見てほしい。」との相談でした。
 このことがきっかけで旦那様がドイツ人、奥様が糸魚川出身のとても素敵な
 ご夫婦と出会いました。
 その日早速家を見に行ってみると、そこは日本海を一望できる見晴らしの良
 い所、集落の小高い位置に建っていた築120年の古民家でした。
 中へ入ってみると、大きな柱や大きな梁が煙で燻され黒く煤で覆われていま
 した。薪を焚いて生活していたことで煤が木材を保護していたのです。私は見た
 瞬間、「これならほとんどの木は生きている。」「この建物なら間違いなくリユ
 ース(=再生)して、長い間眠っていた古民家をよみがえらせることが出来る。」
 と直感し、ご夫婦にお話しをさせていただきました。
 ここから、築120年の古民家との戦いが始まりました。

